

みずほCustomer Desk Report 2023/08/18 号(As of 2023/08/17)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	146.50
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.33	1.0875	159.14	1.2727	0.6414
SYD-NY High	146.56	1.0918	159.29	1.2788	0.6450
SYD-NY Low	145.62	1.0857	158.28	1.2704	0.6365
NY 5:00 PM	145.84	1.0871	158.56	1.2748	0.6402
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,474.83	▲ 290.91	日本2年債	0.0300%	0.0100%
NASDAQ	13,316.93	▲ 157.70	日本10年債	0.6500%	0.0300%
S&P	4,370.36	▲ 33.97	米国2年債	4.9345%	▲0.0317%
日経平均	31,626.00	▲ 140.82	米国5年債	4.4128%	0.0081%
TOPIX	2,253.06	▲ 7.78	米国10年債	4.2830%	0.0257%
シカゴ日経先物	31,395.00	▲ 310.00	独10年債	2.6985%	0.0550%
ロンドンFT	7,310.21	▲ 46.67	英10年債	4.7400%	0.0995%
DAX	15,676.90	▲ 112.55	豪10年債	4.2760%	0.0450%
ハンセン指数	18,326.63	▲ 2.67	USDJPY 1M Vol	9.26%	▲0.15%
上海総合	3,163.74	13.61	USDJPY 3M Vol	9.91%	▲0.04%
NY金	1,915.20	▲ 13.10	USDJPY 6M Vol	9.65%	▲0.04%
WTI	80.39	1.01	USDJPY 1M 25RR	▲0.66%	Yen Call Over
CRB指数	274.39	0.93	EURJPY 3M Vol	9.99%	▲0.01%
ドルインデックス	103.57	0.14	EURJPY 6M Vol	9.91%	0.01%

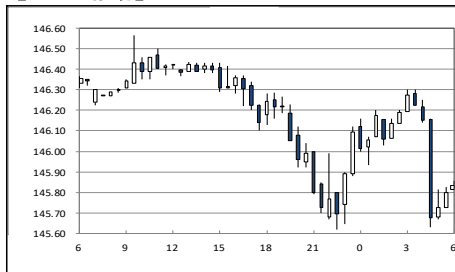
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月17日	08:50	日 貿易収支	7月 -¥78.7b	¥47.9b
	10:30	豪 雇用者数変化	7月 -14.6k	15.0k
	10:30	豪 失業率	7月 3.7%	3.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	12-Aug 239k	240k
	21:30	米 フィテールフィア連銀景況	8月 12	-10.4

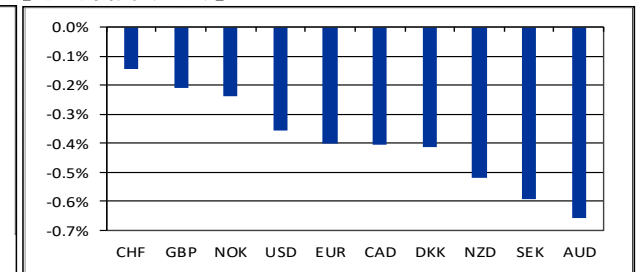
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月18日	08:30	日 全国CPI/コアCPI	7月 3.3%/3.1%	3.3%/3.3%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料) 前月比/前年比	7月 -0.7%/-2.2%	0.8%/-0.9%
	18:00	欧 CPI確報 前月比/前年比	7月 -0.1%/5.3%	-0.1%/5.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.20-147.00	1.0820-1.0920	157.50-160.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は146.33で取引開始。本邦当局者からの介入を警戒しながらも前日からの流れが継続し、昨年11月以来の高値を更新(146.56)。海外時間には、「中国当局が人民元の急激な変動を防ぐために国有銀行に対し為替市場への介入を強化するように指示」との報道を受けドル売りが進行すると145.62まで下落。良好な米経済指標や米金利に支えられ146円台へ持ち直すも、米株下落を背景とした米金利低下に145円台半ばまで下落し、145.84でクローズした。

本日のドル円は方向感の乏しい推移を想定する。足許では中国景気を警戒しドルが買われる場面もある一方で、昨日は中国当局の為替介入警戒感からドル売りとなった。引き続き、中国関連のヘッドラインには注意が必要だ。また、ドル円が146円台に乗せる場面もある中、本邦当局者からの円安けん制のトーンは未だ高まっていないことから、上値を試す動きも想定されるだろう。もっとも、来週にはジャクソンホール会議を控えており、週末でもあることから持ち高を大きく傾ける動きは想定しにくいと見ている。

東京	146.33レベルで東京時間オープン。前日の流れを受け、朝方に2022年11月上旬以来の高値146.56まで上昇。その後は円買い介入の警戒感が重しとなり、146円前半で膠着。午後材料が少なく同水準で推移し、146.31レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.31レベルでオープン。ドル円は、介入警戒感もあつてか重い値動きとなったが引き続き高値圏での推移。145.84レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2730レベルでオープン。英10年金利が2008年以来的水準へ上昇する中で、ポンドは1.2765まで買われ1.2762レベルでNYに渡った。なお本日ルウェー中銀が政策金利を予想通り0.25%引き上げた。市場は加買いで反応した後上下に振れた。
ニューヨーク	海外市場で中国当局が人民元の大きな変動を防ぐため国有銀行に対して為替市場への介入を強化するように指示とのヘッドラインを受け、リスク回避の動きから円買いが強まり、ドル円も145.79まで下落し、145.84レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想とほぼ一致する一方、同時に発表の8月フィテールフィア連銀景況指数が予想を上回ったことから145.99まで戻す。しかし、海外市場で強まった円買いが再び持ち込まれ145.62まで反落する。続いて発表の米7月先行指数は予想と一致し、ドル円の反応は限定的となったが、米金利が徐々に上昇する展開に再びドル円は上昇に転じ、146.30まで戻す。終盤に掛けては、上昇していた米金利が低下する展開にドル売りが強まる中、円買いも持ち込まれ、ドル円は145.63まで再び反落し、145.84レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場で小幅な値動きが続き、1.0895レベルでNYオープン。朝方は一旦1.0918まで戻す局面もあったものの、その後は米金利上昇を受けたドル買いに、上値を切り下げ1.0857まで反落する。終盤に掛けてはやや値を戻し1.0871レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西・田川